

## 令和3年度 芸術科〔書道〕

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書道 I」（東京書籍）						
副教材等	改訂 基本ペン習字（教育図書）						

## 1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学びましょう。
- ・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることを目指します。
- ・身近に飾れる作品を作ることによって達成感を味わい、書を愛好する心情を育みましょう。

## 2. 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

## 3. 学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a: 書への関心・意欲・態度	b: 書表現の構想と工夫	c: 創造的な書表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 ノート ワークシート	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

## 4. 学習の活動

月	単元	学習内容・活動	主な評価の観点	単元(題材)の評価基準	評価方法
---	----	---------	---------	-------------	------

			a	b	c	d		
4	書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写の確認</li> <li>楷書の基本</li> <li>行書の基本</li> <li>・用具・用材について理解する</li> <li>・姿勢・執筆法</li> </ul>	○			○	a: 中学校書写で学習したことを確認し、漢字と仮名の調和と線質について関心をもち、表現を高めようとしている。 b: 中学校の書写で学習した漢字と仮名の字形や文字の大きさなどが、全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。 c: 基本的な姿勢・執筆法を身に付け、表現に応じた姿勢・執筆法を選択している。 d: 正しく整った文字のよさや美しさを感じ取っている。	観察 ノート 提出作品
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の成立と変遷</li> <li>・古典に基づく学習</li> <li>・楷書の用筆法・結構法</li> <li>・楷書成立と唐の四大家</li> </ul> ○九成宮醴泉銘 【鑑賞】【臨書】 ・半紙	○	○		○	a: 古典の臨書・鑑賞を通して楷書の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。 b: 古典の臨書・鑑賞を通して楷書の美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 c: 創造的な書表現をするために、臨書の意味や表現方法を理解している。 d: 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について幅広く理解している。	観察 ノート 提出作品
6	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の成立と特徴</li> <li>・行書の用筆法</li> </ul> ○蘭亭序 【鑑賞】【臨書】 ・半紙 ・半切	○	○		○	a: 古典の臨書・鑑賞を通して、行書の美とその技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 古典の臨書・鑑賞を通して行書の美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。 c: 行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d: 鑑賞と表現は相互関連していることを理解し、行書のよさや美しさを感じ取っている。	観察 ノート 提出作品
7								
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆書の成立</li> <li>・篆書の用筆法</li> </ul>	○	○		○	a: 篆書の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。 b: 篆書の美とその技法の基礎・基本を学び、普遍性のある表現を構築している。 c: 篆書の創造的表現を身に付け表している。 d: 篆書の美やよさを感じ取っている。	観察 ノート 提出作品
9	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆刻原稿, 印稿</li> <li>・大印 (2~4 字) の制作</li> </ul>	○		○		a: 基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。 b: 篆刻の表し方やその美しさを理解し、表現を工夫している。用具・用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。 c: 文字や印材と余白との関係を理解し、全体	観察 ノート ワークシート 提出作品

10							構成を考えた技能を身に付け、表している。 d: 篆刻の美やよさを感じ取っている。	
11	漢字の書	・隸書の成立と特徴  ○曹全碑 【鑑賞】【臨書】 ・半紙	○	○		○	a: 古典の臨書・鑑賞を通して、隸書の美とその技法に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 隸書の美とその技法の基礎・基本を学び、普遍性のある表現を構築している。 c: 隸書の創造的表現を身に付け表している。 d: 隸書の美やよさを感じ取っている。	観察 ノート 提出作品
12								
1	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書について ・いろいろな線による表現の広がり	○	○		○	a: 線質の違いによるさまざまな表現のよさや美しさに関心を持ち、表現を高めようとしている。 b: 線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。 c: 漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け、表している。 d: 多様な線質による表現の違いを感じ取っている。	観察 ノート 提出作品
2	漢字の書	・色紙創作	○	○	○		a: 表現活動を通して、意図的、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。 b: 字形の構成や全体の構成を工夫している。 c: 作品の意図を明確にするための創造的な表現を身に付け表している。 d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
3								

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度      b: 書表現の構想と工夫  
c: 創造的な書表現の技能      d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することになるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。